

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	一般財団法人 奈良市総合財団	
施 設 名	なら100年会館	
助成対象活動名	普及啓発事業	
内定額(総額)	2,781	(千円)
公 演 事 業		(千円)
人材養成事業		(千円)
普及啓発事業	2,781	(千円)

(2) 平成30年度実施事業一覧

【普及啓発事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	奈良の文化芸術の地産地消 文化の絆で地域を結ぶ	H31.2/2、2/17	①なら100ふれあいコンサート、出演：樽井美咲 他、②吹奏楽コンサート、出演：大阪市音楽団、山下真理奈 ほか	目標値	1,700
		なら100年会館		実績値	1,349
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	1,700
				実績値	1,349

【妥当性】

自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

市民参画によって制定された「奈良市文化振興計画」を踏まえた文化の誇り高いまちづくりの実現に向けて、地域の活性化、地域との連携・協働を礎に、豊かな文化芸術を創造する事業を推進しました。社会的役割（ミッション）として、奈良の魅力を発信する芸術文化を育み、活用することで市民の文化力向上につなげるとともに、持続的な地域の文化振興、交流、貢献、活性化を図ることをテーマとしました。また、そのミッション実現のため7項目のビジョン①奈良の魅力を発信する”なら100年会館”、②地域社会へ貢献する”なら100年会館”、③未来をみつめる”なら100年会館”、④市民が誇れる”なら100年会館”、⑤ホスピタリティあふれる”なら100年会館”、⑥安心・安全で快適な空間を実現する”なら100年会館”、⑦効率的な施設管理を目指す”なら100年会館”を掲げて、計画的に各事業に取り組みました。

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、奈良の魅力を発信する芸術文化を育み活用する事業として、奈良発祥の伝統芸能である「能楽普及事業」を実施。「こどもお能教室」「大人によるお能体験教室」のほか、こどもお能グループによる寺社での奉納や発表会への参加、「能楽みどころ講座」の開催。子供たちへの伝統芸能への理解、伝承に繋がるとともに、市民への取り組みへの理解が深まるなど、計画通り普及啓発活動に成果を上げました。

また、社会包摂の考え方を取り入れ、計画した誰でも参加できるバリアフリーコンサートでは、会場が一体となる楽しいコンサートを開催するなど、予定通り社会包摂事業として地域貢献を果たせました。

このほか、音楽で地域貢献する事業として小学校への出張授業をアウトリーチ事業として実施するとともに、吹奏楽コンサートでは公演前に、演奏者である大阪市音楽団員らが吹奏楽部の高校生を指導する「楽器クリニック」を実施するなど活動を行いました。また、集客向上のためコンサートの演奏曲目は、親しみやすい映画音楽などを選曲するとともに、会館HPやツイッターなどSNSをフルに活用し、新聞、雑誌に限らず、多様な媒体に告知することで入場者の拡大を図りました。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

社会的役割（ミッション）や地域の特性などに基づき、①地域の魅力的な文化資源の発掘と市民への周知②社会包摂の考え方を取り入れた事業展開③普及啓発事業の更なる事業展開などを掲げて事業を推進しました。

まず、「地域の魅力的な文化資源の発掘と市民への周知」として、文化振興事業の柱である「能楽普及事業」は、地域の魅力的な文化資源の継承とともに、普及啓発のための市民への周知に努めました、しかしながら資金面の確保、事業趣旨などの市民への周知のため、国などの助成金獲得の積極的な展開や市民に事業活動、趣旨をご理解いただくことが重要で、会館ホームページやツイッターなどを通じて、事業趣旨、事業内容などを詳細に掲載するなど周知活動を更に推進しました。「普及啓発事業の更なる事業展開」として、次代を担う子どもたちが参加する「こどもお能グループ」は、奈良市内社寺での奉納や他館での公演へ参加しました。能楽の周知、参加者の促進など、普及啓発事業の観点から長期的な視野に立つて取組み継続していきます。

また、「社会包摂の考え方を取り入れた事業展開」として、文化芸術に備わる特性を生かし、社会包摂事業を積極的に取組むことで、地域の活性化、文化の絆で地域を結ぶという地域社会の実現など、事業での地域貢献を目指しました。教育、医療、福祉の各機関との連携を図り、コンサートやアウトリーチ事業を継続的に展開し、大勢の市民の方にお越しいただきました。活発な文化振興事業の実施やアウトリーチ活動を通して、今後も市民への鑑賞機会の提供、拡大、地域文化の裾野を広げるとともに、地域コミュニティを再生し、地域に活力をもたせるなど大きな役割を果たしていきます。

【有効性】

自己評価

目標を達成したか。

社会的役割（ミッション）実現のため7項目のビジョン①奈良の魅力を発信する”なら100年会館”、②地域社会へ貢献する”なら100年会館”、③未来をみつめる”なら100年会館”、④市民が誇れる”なら100年会館”、⑤ホスピタリティあふれる”なら100年会館”、⑥安心・安全で快適な空間を実現する”なら100年会館”、⑦効率的な施設管理を目指す”なら100年会館”を掲げました。事業運営面では奈良の魅力を発信する芸術文化を育み、活用する事業として、奈良発祥の伝統芸能である「能楽普及事業」を開催しました。「こどもお能教室」やこどもお能グループによる寺社での奉納、発表会への参加などを通して、子供たちには日頃触れることのない伝統芸能の作法、奥深さを学ぶことの素晴らしさを経験した頂きました。その活動が新聞やミニコミ誌などに取り上げられ、参加者数も次年度は増加するなど、活動への周知、ご理解が推進しています。今後も引き続き「こどもお能教室」、「大人の体験教室」、「能楽みどころ講座」を継続していきます。

また、社会包摂の考え方を取り入れた事業で地域へ貢献する事業として実施した、誰でも参加して楽しめるバリアフリーコンサートでは、会場（小ホール）が満員となるなど、会場が一体となった素晴らしいコンサートとなり、社会包摂事業として地域の方への貢献を果たしました。

このほか、音楽で地域へ貢献する事業として小学校への出張授業をアウトリーチ事業として実施するとともに、吹奏楽コンサートでは公演前に、演奏者の大阪市音楽団の団員らが吹奏楽部の高校生を指導する「楽器クリニック」を実施するなどの活動を行うことで、高校生の皆さんには新鮮で大変貴重な時間となったと思います。また、楽器クリニックに参加した高校生が吹奏楽コンサートへも観客として来場し、あらためて音楽の楽しさを体感して頂きました。

【効率性】

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

○能楽普及事業「金春流能楽師金春康之師による舞謡の指導」、小中学生対象「こどもお能教室」と大人対象「お能教室」日程：平成30年4月～平成31年2月、回数：25回。事業期間、回数も予定通り実施しました。熱心な参加者ばかりで欠席者も少ない受講状況でした。できる限り支出を節減し当初の事業費以下で開催できました。

○アウトリーチ事業「こどもお能教室」日程：平成30年7月30日、実施会場：元興寺、参加者数：7名、日頃の教室での稽古、能楽奉納等を通し子ども達に伝統芸能の貴重な体験の場となった。

○「能楽みどころ講座」日程：平成30年12月15日、平成31年2月16日、入場者数：152名（総数）、出演者：金春安明師、金春康之師。能楽に興味のある方が大勢申込みをされ、ほぼ目標入場者数の方にお越し頂けるなど能楽の普及啓発に努めました。

○「なら100ふれあいコンサート」日程：平成31年2月2日、入場者数：89名、出演者：樽井美咲、高田汐莉。舞台・客席がフラットな小ホールで開催され、参加者も目標数を越え満席のなか会場が一体となり誰もが楽しめるコンサートとなりました。インフルエンザの流行時期と重なり、不安材料となりましたが、次年度以降は開催時期を変更する予定です。事業費はできる限り節減に努めたため、当初の計画どおりに進みました。

○「文化の絆で地域を結ぶプロジェクトアウトリーチ事業」①小学校での出張授業、日程：平成30年11月16日、会場：奈良育英小学校、回数2回、参加者数：42名、楽器・作曲体験・合奏、出演：大阪交響楽団、②保育園訪問、日程：平成30年12月13日、会場：大宮保育園、回数2回、参加者数：140名、内容：紙芝居、軽微な体操、手遊び、出演：塚田高司。体験・鑑賞を通し地域のこどもたちに文化振興に繋がる事業を実施しました。事業期間、費用も計画どおり進みました。

○①「吹奏楽コンサート」日程：平成31年2月17日、出演：大阪市音楽団②「吹奏楽部出張クリニック」日程：平成31年1月12日 会場：登美ヶ丘高校、参加者数：53名。出張クリニックを行った吹奏楽部の学生が吹奏楽コンサートを鑑賞するなど吹奏楽コンサート、出張クリニックを通して地域の市民の方への音楽の普及・振興に取り組んだ。事業費に関しては、吹奏楽コンサートの集客が今一步の状況で、収入面に影響が出る結果となりました。経費の節減とともに、コンサートの告知、周知方法が課題となった。

【創造性】

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

奈良市の文化の発信拠点施設としてふさわしい事業として「奈良の文化芸術の地産地消」をテーマとした①奈良の文化をよく知る②奈良の文化を楽しむ③奈良の文化を創造するの3項目を、事業を通して実践し、観客・参加者と出演者の『心が通じる』関係を地域の活性化、地域コミュニティへの貢献に繋げて事業を展開しました。

先ず、奈良発祥の伝統芸能といわれている「お能」を奈良の魅力を発信する事業として取り組んだ能楽普及事業では、「こどもお能グループ」、「大人によるお能教室」を実施し、一年間の能楽教室を通して実演体験や寺社での奉納等のアウトリーチ事業を展開するとともに、市民の方には能楽を楽しむためのセミナー「能楽みどころ講座」等を開催しました。参加頂いた市民の方やこどもたちが能楽の魅力、楽しさ、素晴らしさに触れることができる等、伝統芸能の普及啓発に繋がりました。

また、公立文化施設として文化芸術に備わる特性を生かし、社会包摂の視点を持った事業を実施しました。奈良市の社会福祉協議会との連携を図り、誰でも気軽に交流できるバリアフリーコンサートを、客席・舞台がフラットな小ホールで開催しました。それによってコンサートに一体感が生まれ、様々な市民の方々に楽しんで頂きました。誰もが気楽に来場してもらえるコンサートを、地域の福祉団体と連携して実施できました。

このほか、奈良市の文化拠点として奈良県内のオーケストラだけではなく、大阪市音楽団や大阪交響楽団との協働事業として、アウトリーチ事業、音楽コンサートを実施しました。奈良市内小学校（奈良育英小学校）では楽器体験授業として、こどもたちに直接、楽器に触れたり、演奏したり等を体感してもらう中で、音楽の楽しさ、素晴らしさ知って頂きました。市内の高校（奈良県立登美ヶ丘高等学校）ではミニコンサートのみならず、吹奏楽部の皆さんを対象とした楽器クリニックを実施するなどこどもたちの指導、育成にも力を注ぎました。また、会館大ホールで開催した「吹奏楽コンサート」では、「奈良で愉しむ」をテーマに、親しみやすい音楽を誰でも気軽に楽しんで頂ける公演として、大勢の市民に生の音楽の楽しさを知って頂くことができました。演奏クリニックを実施した高校からも沢山のこどもたちがお客様として鑑賞するなど、文化振興につながる事業となりました。今後は更に市民への音楽の普及啓発に取り組みます。

【創造性】

自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

奈良発祥の伝統芸能といわれている「お能」を奈良の魅力を発信する事業として取り組んだ能楽普及事業では、「こどもお能グループ」、「大人によるお能教室」を実施し、一年間の能楽教室を通して実演体験や寺社での奉納等のアウトリーチ事業を展開するとともに、市民の方には能楽を楽しむためのセミナー「能楽みどころ講座」等を開催しました。「こどもお能教室」は、奈良発祥の伝統芸能である能楽の普及・発信を目的に、小学生を対象に『なら100年会館こどもお能グループ』を発足、金春康之師の指導で舞や謡の稽古を行った他、お寺での奉納行事に参加しました。また、歴史ある能楽を学び、文化の魅力に触れ、「能楽」を先々に繋ぐ事を目的とした特徴ある事業として、18歳以上を対象とした『お能教室』や、金春流による『能楽みどころ講座』を開催しました。参加頂いた市民の方やこどもたちが能楽の魅力、楽しさ、素晴らしさに触れることができるなど、伝統芸能の普及啓発に繋がりました。また、コンサートやアウトリーチ事業を継続的に行い、文化で地域を結ぶ「文化芸術の活用」を実践するなかで、アウトリーチ事業は普及啓発の一環として、市民への鑑賞機会の提供拡大や地域貢献の一助となりました。吹奏楽コンサートは公演前に、高校の吹奏楽部へ出向き出張クリニックを行うことで、当日には観客としてコンサートを鑑賞して頂くなど地域の文化芸術の発展につながる事業を展開しました。

【持続性】

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

なら100年会館は、市民参画によって制定された「奈良市文化振興計画」の理念を尊重し、文化の薫り高いまちづくりを目指すとともに、文化芸術振興基本法及び「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の趣旨を、十分に反映させて管理運営に取り組みました。指定管理事業として施設管理事業（維持管理業務）、文化振興事業（管理付随事業・自主企画事業）、貸館事業の適正な管理運営を行っています。

社会的役割（ミッション）として、奈良の魅力を発信する芸術文化を育み、活用することで市民の文化力向上につなげるとともに、持続的な地域の文化振興、交流、貢献、活性化を図ることをテーマとしました。また、その実現のため①奈良の魅力を発信する”なら100年会館”、②地域社会へ貢献する”なら100年会館”、③未来をみつめる”なら100年会館”、④市民が誇れる”なら100年会館”、⑤ホスピタリティあふれる”なら100年会館”、⑥安心・安全で快適な空間を実現する”なら100年会館”、⑦効率的な施設管理を目指す”なら100年会館”の7つのビジョンを掲げ、それぞれの事業を継続的に取り組みました。組織活動、業務の効率化を目指し、7つのビジョンを掲げることで、計画から改善までを1つのサイクルとした「PDCAサイクル」を活用し、その実践に継続的に努めました。

施設の運営管理面では年間施設利用率は大ホール約70%、中ホール約80%で、県内文化施設では高水準を維持、継続しており、今後は国際会議などコンベンションの誘致活動を推進するうえで、更に地域の各種団体との連携・協働を深めるなど機能強化を図ります。

また、事業運営面では「能楽普及事業」、「万葉オペラ・ラボ事業」は、地域の魅力的な文化資源の発掘と独自のユニークな文化芸術プログラムとして継続的に展開しました。また、事業に外部事業評価制度を導入し、事業を外部の有識者に評価いただき、事業運営の継続に役立てました。また、今後は事業の財政基盤の安定化を目指し、資金面の確保、国等の助成金獲得の積極的な展開のほか、市民に事業活動、趣旨をご理解いただくための周知活動を更に推進します。